

令和 6 年 9 月 定例教育委員会

日 時 令和 6 年 9 月 2 5 日（水） 9 時 3 0 分～

場 所 市役所 1 1 階 会議室 1

出席者

（教育委員）

陣内教育長 松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

大藤教育総務部長 溝口総務課長 田村社会教育課長 富野学校教育部長 鳩山学校教育部長次長兼学校教育課長 木下学校教育部長次長 藤原学校保健課長 峰松総務課長補佐兼庶務係長

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

（1）教育長報告

（2）令和 6 年 7 月分 議事録確認

（3）議 題

- ① 佐世保市立小・中学校及び義務教育学校における業務改善アクションプラン（第 2 期）（学校教育課）

（4）協議事項

- ① 令和 7 年度第 2 1 回「いのちかがやく講演会」講師選定について（学校教育課）

（5）報告事項

- ① 令和 6 年度佐世保市中学校体育大会（駅伝競走について）（学校保健課）
- ② 徳育推進フォーラム開催について（社会教育課）
- ③ 少年の主張長崎県大会の結果について（社会教育課）

（6）その他

- ① 次回開催予定について

◆教育長報告

○ 9 月 5 日～9 月 2 7 日 令和 6 年 9 月定例会

（１）教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

９月の定例教育委員会を開催いたします。９月の定例市議会が５日に開会しまして、２７日が閉会という形になります。

今回の一般質問では、学力向上や夜間学級、学校給食のことなど多岐にわたってご質問をいただきました。他には、子どもによる子どもの盗撮についての質問があり、時代が変わってきているように感じました。補正議案では郵便料金の値上げにかかる予算などがありました。条例改正としては、いじめ問題に対応するための組織を拡充する内容がありました。

それでは議事録の確認に参りたいと思います。７月分の議事録の確認はよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。それでは議題に入ります。議題の１個目「① 佐世保市立小・中学校及び義務教育学校における業務改善アクションプラン（第２期）」学校教育課から説明をお願いします。

（２）佐世保市立小・中学校及び義務教育学校における業務改善アクションプラン（第２期）

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

議題資料Ｐ１～Ｐ２２により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。ご審議のほどよろしくお願いします。

【古賀委員】

C4thや校務支援システムなど資料によって名称がバラバラですが、同じものということでしょうか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

同じものでございます。

【松野教育長職務代理者】

C4thにはもう変わっているんですよね。その中の出退勤状況は使用していなかったということでしょうか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育長】

はい。もともとC4thに出退勤状況を記録する機能はあったんですが、県へ報告と一致しない箇所があり、学校の負担を考え、使用しない方がよいのではないかという判断もあったようです。今般、県がその項目の見直しも検討されるということもありましたし、来年4月からは直接学校から県へ報告が安易にできるようなシステムも検討されているということです。今回はぜひC4thを導入したいとなりました。

【中村委員】

現場の実情がよく分かっていないので教えていただきたいんですけど、C4thを導入すれば、教える仕事以外の仕事を合理的に減らすことができるというものすごく有効な策だと思いますが、これはどこの学校も、どの先生も同じように扱っているのか、学校全体で使うところと、各先生がそれぞれ利用するところがあるのか、その辺をちょっと教えていただきたいです。

【陣内教育長】

C4thの概要が分からないので、まず、機能説明のパンフレットがあったと思いますが、後ほど、そちらを用いて説明をさせていただきます。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

基本的には、学校全体で最低限取り組むような内容はあります。さらに得意な先生と、そうじゃない先生はやはりいますので、個人差はあろうかと思います。先ほど申し上げました、会議室という機能につきましても、会議のために毎回それを使っている学校と、その機能が十分に使われていないなどの差はあります。ですので、個人で活用する機会を増やしたいですし、学校全体で取組みを伸ばしていくというのも、併せて現在の課題ではないかなと思います。

【中村委員】

私の会社では、グループウェアを導入しています。私たちも取り組まなくちゃいけないことは同じですので、民間企業としても取り組んでいるんですけど、主に効果が上がったなというのは何か報告書の作成業務とか、受注に関するものでも使っています。教育に関する記録もそうだと思います。調査ということは、アンケートみたいな集計が紙で来るんですか。それとももうすでに電子化されてるんでしょうか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

現在、紙で回答を求めるものも存在しますし、データ回答もあります。回答を求める際もファイルサーバーというところに保存する指示があったり、これが各課によってばらつきがあります。ほぼEメールではありますが、紙で回答というのもあります。

【中村委員】

私が仕事でいろんな調査をするときもありますが、国に報告で書かなくちゃいけないのは、紙も送ってくるんですけど、電子でも答えられますと書いてあります。時間的には紙で書くより何分の1かで済む。特に集計される方は、電子化してあれば、業務量の削減になると思うので、もしまだ紙回答が残っているとしたら、それこそすぐやめましようと言いたいです。

少なくとも、今、現役で働いてらっしゃる方は電子で対応できるはずなので、紙をやめて、全部電子にすると、随分効果が期待できるんじゃないかという印象を持っております。ご検討いただければと思います。

【陣内教育長】

ちょっと考え方を整理したいんですが、調査と言われるものは、3種類あると思います。Web上での直接回答する調査、それからワードやエクセルに入力後、紙で出力して回答する調査、本当に紙で記入して回答する調査です。

【富野学校教育部長】

先日、人名の正確な文字の報告が、依頼先より手書きじゃないと分からないとされました。例えば辻さんの辻が2つ点でしかパソコン上は出てこない。正確な文字での回答については紙ベースでお願いするという場合があって、ただ紙ベースじゃなくても、PDFで電子データの方が早いだろうとなりましたので、指示して見直してもらいました。

基本的に内部で発出するときには、原則電子化されてるかと思いますが、そういったことを調整はしていきたいです。

※ここでC4th機能説明書配布

【陣内教育長】

C4thはグループウェアの機能と児童生徒管理情報、出欠成績管理があり、基礎のデータベースになります。

こういう子供さんが何年生に在籍されていたとかで、それに紐づけて出席簿であったり、成績一覧であったりのデータとなります。必ず使わなければならないものが、例えば、学籍管理や、卒入進学、在籍の名簿作成はどの教職員もしなければならない。出席簿については公簿としての性格を持たせているので、必ずしなければならない。

指導要録作成とか、国、県が決めた書式に基づいてやっていきますので、必ず全職員が

しなければならない。ところが成績処理とかになれば、先生方によってC4thを使う先生もいれば、違うソフトでする先生もいたり、電卓をたたいている先生もいるかもしれないという状況です。必ずしなければならないところは全職員しますし、それ以外では、各職員の判断に任せられているところもあります。

【西沢委員】

質問よろしいですか。

P5の目指す数値目標というところで、超過勤務が月45時間を超える割合、令和10年度までにゼロとします。これは県の数値目標ですけれども、その下に上限目標で年間540時間とあります。単純に540時間を12で割ると45時間なんです。その目標の達成年度が、令和7年度までと令和10年度までと違うのが、これを読む限り、例えば、12月はものすごく忙しい時期で、どうしても先生たちが40時間、45時間を超える人がすごく多いから、月40時間をゼロにするっていうのは厳しいけれども、年間でならしていったら、540時間を超える人はいないからそういう設定をされているのか。なぜこう、設定の目標年度が違うのかが分からなかったのでもっと教えていただきたいというところと、年間と月を別々に示す意図、背景みたいなのがあれば教えていただきたいなと思いました。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

基本的には、西沢委員さんの考えが正しいのではないかと考えております。1番と2番を比較しますと、2番の方が実現の可能性としては高いのではないかと考えておりまして、そういったところから令和7年度までの目標になっていると思います。

ですけれども、1年間を通してどうしても4月は、45時間を超える教職員が増えます。

新年度を迎えるというような、また連休の多い月もあれば、長期休暇のある月もあれば、1ヶ月間ほとんど祝日もないような月もあったりして、毎月を45時間以内に収めることは、ちょっと困難度としては高いという判断もありまして、令和10年度までには、その月に限らず、月45時間を超える教職員がいなくなるように目指しての努力目標と思います。

【西沢委員】

そこに関連してもう1つ質問ですけど、前にこの話があったとき、同じような質問をさせていただいたと記憶しているんですが、打刻だけすることは数値をとるので大事だとし、超過理由がわかった方が、4月や6月の業務を削減するには有効じゃないかなと思います。例えば、4月にやることが多いというのが、全体の認識だとしたら何にその時間が割かれて超過してしまったのかとか、具体的に理由が分かった方が改善しやすいのかなと思います。

今回いいシステムが導入されて、具体的な数値目標が出てきたならば、そういう実情をキャッチしたいと思いましたので、もしそういうのがあればぜひ教えていただきたいです。

また、まだないのであれば一緒に考えていきたいなと思ったので、意見させていただきました。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

ご指摘の通り、超過勤務の要因は非常に重要なところだと思っておりますし、今度導入を考えておりますC4thの中におきましては、自身の管理にはなりますが、何が要因であるかを選択するようになっております。

【西沢委員】

すごくいいですね。

【富野学校教育部長】

超過勤務の理由を自分自身で入力できると、西沢委員がおっしゃったような分析も可能になると思いますので、有効に活用させていただきたいです。

【中村委員】

関連するんですけど、何に何時間使ったかというのを記録していくような仕組みなんですか。

【富野学校教育部長】

仕組みというよりも記録ができるという状況で、マストではないというところです。マストにすると、また負担が増えてくるところもございますので、記録をしながら自分自身で調整していただくという方向性で活用していただくということです。

【陣内教育長】

アクションプランの中で具体的な内容の中に、長期的取組みや毎年度実施の取組みとある中で、研究例という言葉や見直しの視点という言葉になったりする。表現の使い分けが精査できているのか確認したいです。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

ご指摘の通り、十分に精査ができていない部分があるように思われますので、もう一度丁寧に見直しをさせていただければと思います。

【陣内教育長】

取組み例とあればしなくてもいいものなのか、学校の裁量というか、推進する取組みと書けば、絶対にしてくださいという教育委員会からの指示、指導なのか、どこを学校の裁量に任せたいのかを打ち出さないことには、学校の進捗が変わってくるような気がします。

【西沢委員】

関連して1ついいですか。P10の8番。時間外の連絡体制の検討の研究例に専用アプリやメールによる連絡対応とあるんですけど、この専用アプリも例で言うとやりたい学校は独自に何かアプリ使ってくださいね。それとも市教委からこういうアプリを使ってくださいなのか、どういう意味合いになりますか。

【陣内教育長】

そうですね。こういうのは、市教委がこれから研究しますということで、他の部分は、学校の方でしてください。ということでしょうか。

推奨しようとか、調整しようとか、そもそも言葉の意味はカテゴライズして分けたほうがいいですね。

【富野学校教育部長】

確かに学校にこれをしてくださいとか、こういう研究をしてくださいという分かりやすい分類をしながら、表現できるように検討させていただきたいと思います。

【中村委員】

P9の副校長教頭業務の見直しというところですけど、私たちも現場のことはそこまで分からないので、想像でしかないんですけど、教頭先生とかは時間的にもすごく大変のかなという印象は持っています。また、校長先生も激務なんじゃないかと思うんですが、その辺はどうなのでしょう。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

校長の直近の状況としまして、大きく超過している現状は今のところは見受けられず、数字上は課題ではないとさせていただいています。

【中村委員】

責任は重くても時間的になると、教頭先生や副校長先生の方が長くなっているという現状で、責任の重さはまた別にあると思うんですけど、これもすごく大事ななと感じております。

【陣内教育長】

土日地域にいろいろな行事で表彰式やスポーツ大会、地区の運動会や文化祭に校長先生たちがほとんどいらっしゃいます。そういうのは多分、勤務時間に入れてらっしゃらないと思います。

今回、このような形できちんと教育委員会から示してもらおうと現場の方も大変ありがたいと思います。長期的な計画なので、今回作って教育委員会として議決しました、そこで終わりではなくて、進捗を丁寧に、定期的に報告していただきたいと思います。

他にないようでしたら、議決させていただきます。

【全教育委員】

はい。

（２）令和７年度第２１回「いのちかがやく講演会」講師選定について

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

命を見つめる講演会の講師選定でございますが、事前に資料も配付させていただきましたんですけども、実は大きな変更がございましてお詫びも含めて、説明をさせていただきたいと思います。資料を作成しましてから先日までの間に、４名中２名の方が当日スケジュールが入ってお受けできないという連絡が入りました。

担当とも協議した結果、もしよければ、１０月の定例教育委員会で再度、提案をさせていただきますと思います。

本日、せっかくの機会ですので、委員の皆様から新たなアイデア、ご意見などをいただきましたら、今後の検討材料の参考にさせていただければと思います。

【陣内教育長】

今回、４名中２名がスケジュールの関係ということでキャンセルでしたので、１０月の定例教育委員会のときに再度提案し直させてくださいということでございます。

その上で、もしお考えがおありでしたら、聞かせていただけますかということです。

【古賀委員】

メダリストとか車椅子テニスの方とかいかがでしょうか。

【陣内教育長】

現役のアスリートはスケジュール管理が難しいと思われます。この絵本作家さんとか声優さんっていう線は面白かったなと思っております。

【西沢委員】

予算はどの程度でしょうか。

【鳩山学校教育部次長兼学校教育課長】

この額でなければいけないという制約はないんですが、資料を目安にしていいただければと思います。

【陣内教育長】

予算が先にあるわけじゃないので、ある程度は融通が利きます。今回のパリパラリンピック関連の方はどうでしょうか。アスリートはスケジュール的にも厳しいかもしれないですが、関連する方とかどうでしょうかと思います。

この件は次回、よろしくお願いいたします。

【全教育委員】

はい。

（３）令和６年度佐世保市中学校体育大会（駅伝競走について）

【藤原学校保健課長】

報告事項Ｐ１～Ｐ３により説明

（４）徳育推進フォーラム開催について

【田村社会教育課長】

報告事項Ｐ４～Ｐ６により説明

（５）少年の主張長崎県大会の結果について

【田村社会教育課長】

報告事項Ｐ７～Ｐ８により説明

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -